

報道関係各位

平成21年9月18日
株式会社 クロス・マーケティング
(東証マザーズ3629)

—「携帯電話」に関する調査—

8割の人が、直近で切り替えた古い携帯電話を現在も持っている

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区 代表取締役社長:五十嵐 幹)は、全国16~59歳の男女を対象に、「携帯電話」に関する調査を実施いたしました。

■調査背景・目的

携帯電話はその便利さから、性別・年齢問わず一般的なコミュニケーションツールとなっており、最近では、通話やメールだけでなく、コミュニケーションサイトの利用も盛んになっています。そこで、本調査では平日の1日に「いつ、誰と、どうやって」携帯電話を使用しているかを把握し、1日のコミュニケーション状況を明らかにしました。また、「多機能化」「端末の高額化」「割賦制の導入」「スマートフォンの普及」など、携帯電話を取り巻く様々な状況に対する消費者の意識、行動を『複数台利用』『古い端末のその後』『買い替え』といった面から明らかにしました。

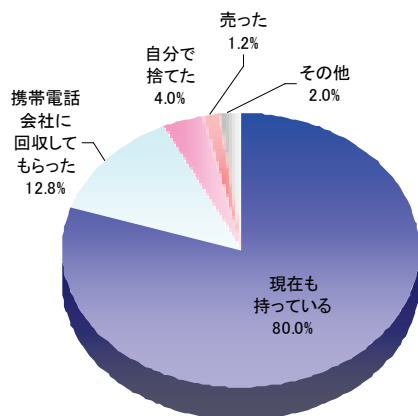
■調査結果トピックス

- 携帯電話でのコミュニケーション手段は「通話」よりも「メール」。
- 日頃、携帯電話で『コミュニケーションサイトを利用している』人は約7割。
人気のサイトは「モバゲータウン」(43.3%)、「GREE」(40.8%)、「mixiモバイル」(29.6%)で、これらは他を大きく上回る。
- コミュニケーションサイトで行ったことの上位は「あしあとやメッセージの確認」、「友人の日記の閲覧」、「ニュースを読む」など携帯電話をサイト閲覧や、情報源として活用している人が多い。
- 8割の人が、直近で切り替えた古い携帯電話機(通話できないもの)を現在も持っている。
- 現在も持ち続けている理由は「データを取っておくため」(59.9%)がトップで、「愛着があるため」(35.2%)が続く。
- 次に買い換えるときにないと困る機能は「メール」が95.0%でトップ。携帯電話の主たる機能である「通話」(73.8%)は「カメラ」(74.0%)と同程度。
- 携帯を買い換えるタイミングのトップは「現利用端末が壊れたとき」(55.8%)で、端末の不具合に関する項目が上位を占める。

◆自主調査結果レポートの続きはこちらへ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/request.php>

古い携帯電話機の行方

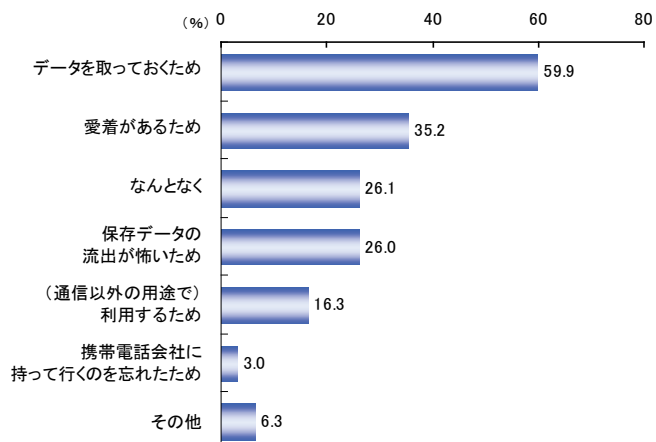
(n=2733)



※利用している携帯電話機が2台目以降の人ベース

古い携帯電話機を持ち続けている理由

(n=2186)



※古い携帯電話を持っている人ベース

■ 調査概要

調査手法 : モバイル調査 (クロス・マーケティング モバイルアンケートモニター使用)
調査対象 : 全国16~59歳の男女
携帯電話(NTTドコモ、au、SoftBank)保有者
調査期間 : 09年9月4日(金)~09年9月5日(土)
有効回答数 : 2,993サンプル(携帯電話キャリアのシェアに近くなるよう割付)

【株式会社クロス・マーケティングについて】

株式会社クロス・マーケティングは、国内130万人超の大規模モニターを軸に、生活者の「生」の声を、主にインターネットを活用して収集するマーケティングリサーチ会社です。生活者の嗜好の多様化や、商品サイクルの短期化に対応するため、ネットリサーチの優位性である「スピード」「コスト」に加え、「品質」を最大限に重視したりサーチサービスを展開しています。調査企画から設計、実査、集計・分析レポートまで、マーケティングリサーチに関するあらゆるサービスをトータルにサポートいたします。

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F
設立 : 2003年4月1日
公開市場 : 東証マザーズ(証券コード:3629)
代表者 : 代表取締役社長 五十嵐 幹
事業内容 : ネットリサーチ事業 Webマーケティング事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当: 鷺野(わしの) TEL : 03-3549-0222 FAX : 03-3549-0221

E-mail pr-cm@cross-m.co.jp

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ずクレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「インターネット調査会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」